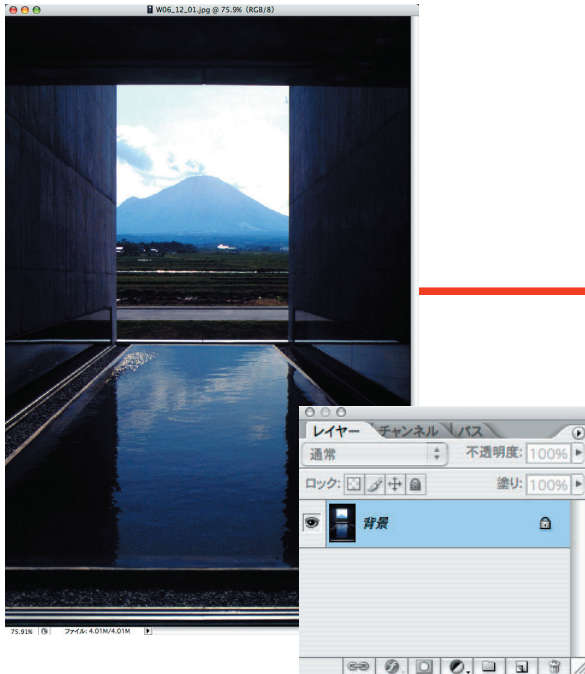


6-12 レイヤーを使った画像合成

アナログ写真で古くから行われていたフォト・コラージュ。Photoshopのレイヤー機能を使えば、元の画像を損なうことなく自由に制作できる。ここでは精細な画像調整も行ってバーチャルな世界を作り出そう。

合成イメージ

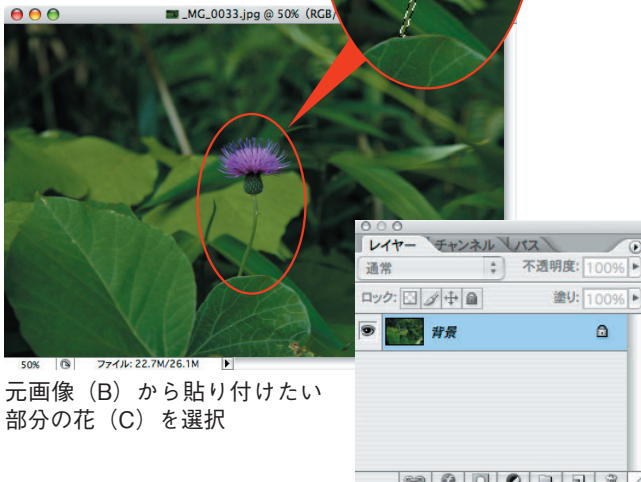
背景画像 (A)



花 (C)

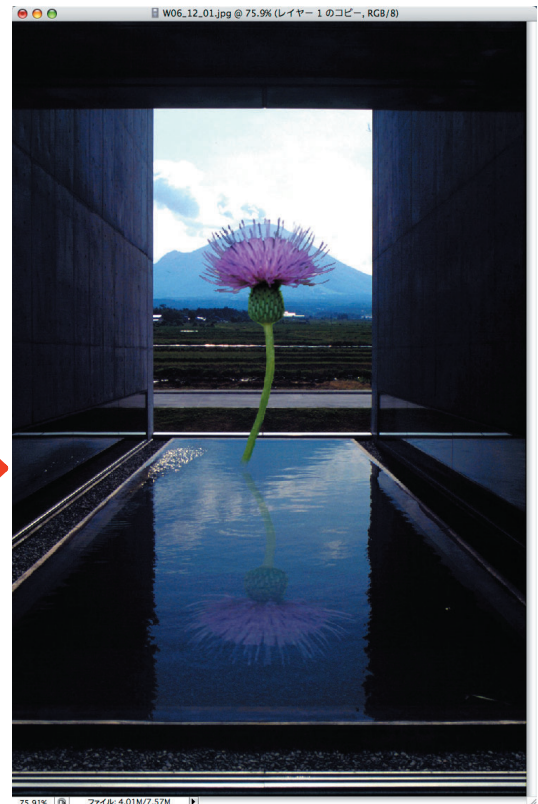


画像 (B)

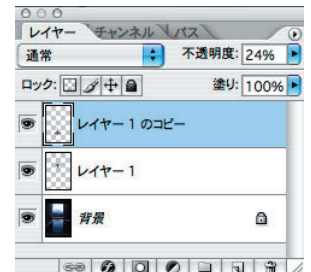


元画像 (B) から貼り付けたい部分の花 (C) を選択

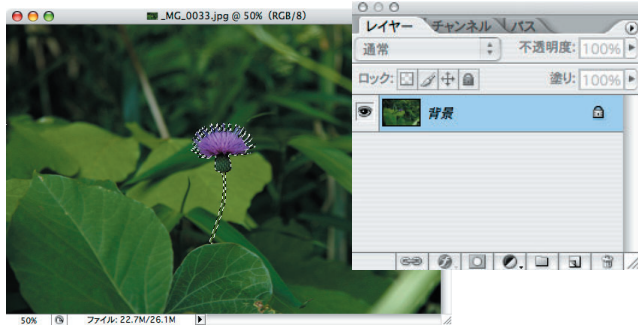
A+C→



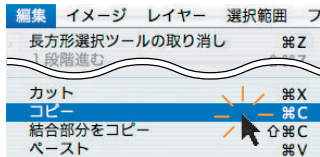
背景画像 (A) にクリップボードから花 (C) を貼り付け、水面を加工し、花が水の中から咲いたように加工した



①レイヤーを重ねる



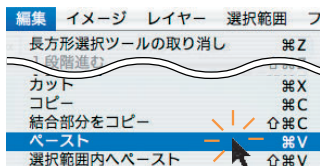
① 画像Bから花だけを選択する。



② メニューバーの「編集」→「コピー」をクリックする。



③ 貼り付け先の画像Aを作業状態にする。

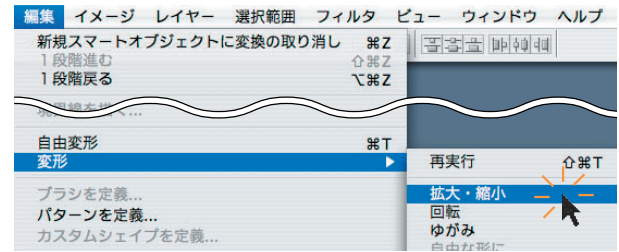


④ メニューバーの「編集」→「ペースト」をクリックする。



⑤ Aの背景レイヤー上に、花の「レイヤー 1」が自動的に作成される。

②レイヤーを拡大・縮小する



① メニューバーの「編集」→「変形」→「拡大・縮小」をクリックする。



② 花の周囲がハンドル付きの線で囲まれる。ハンドルをドラッグすると画像を拡大・縮小できる。ここでは、画像の縦横の比率を維持するために [shift] キーを押したままドラッグ&ドロップする。



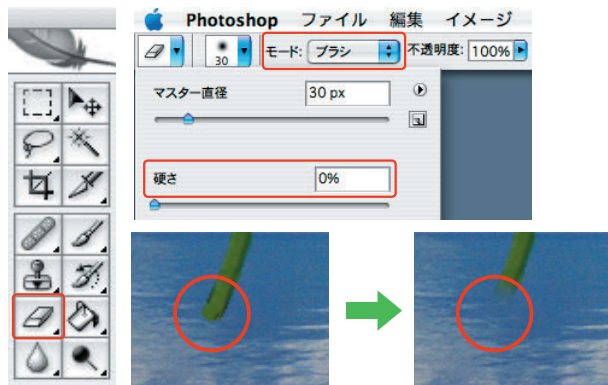
③ さらに花をドラッグして任意の位置に移動する。枠内でダブルクリックすると花の周囲の線が消えて確定する。

これで背景AとCの花が合成された。しかし、ただ花を貼り付けただけでは不自然だ。さらに、自然に見せるレタッチのテクニックは次のページをご覧ください。

次ページへ続く ➡

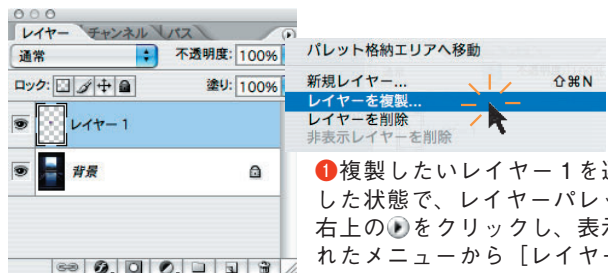
実際にこの場所（水上）に花があれば、水面から花の茎が突き出て、水面にその映り込みが見えるだろう。厳密な映り込みを正確に作り込むのは難しいが、この程度の画像であれば花の画像を上下左右反転させて重ねれば、それらしく見える。

③消しゴムツールで茎の根元をぼかす

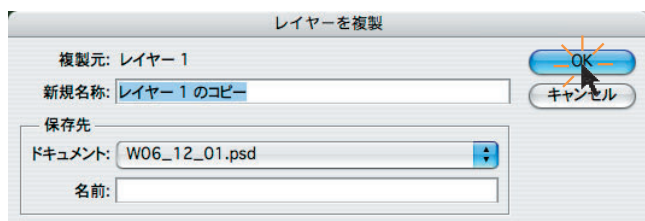


「モード」をブラシ、「硬さ」を0%にした[消しゴム]ツールで茎の下部をぼかす。

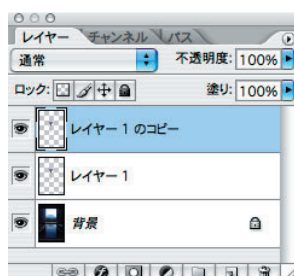
④レイヤーを複製する



①複製したいレイヤー1を選択した状態で、レイヤーパレット右上の[複製]アイコンをクリックし、表示されたメニューから「レイヤーを複製」をクリックする。



②「レイヤーを複製」の設定画面が表示される。「OK」ボタンをクリックする。



③レイヤー1が複製され、「レイヤー1のコピー」という新しいレイヤーが作成された。

⑤レイヤーを垂直方向に反転する

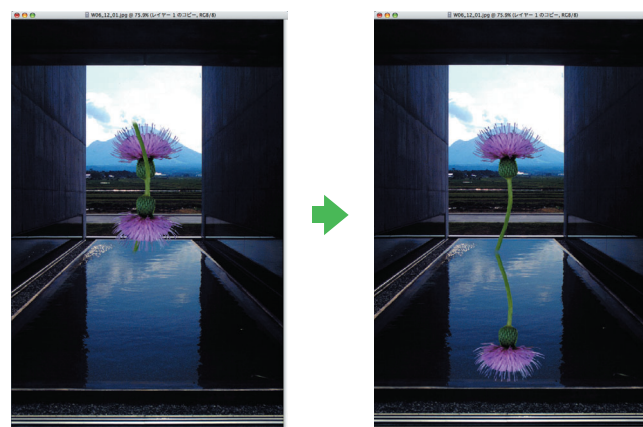
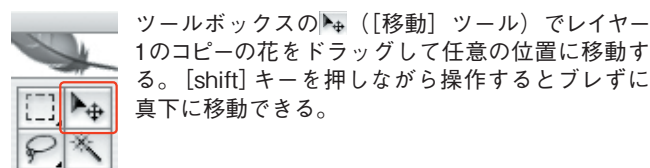


①メニューバーの「編集」→「変形」→「垂直方向に反転」をクリックする。



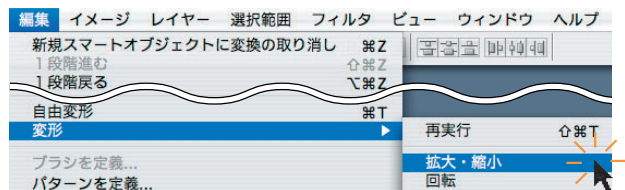
②選択されているレイヤーだけ、垂直方向に反転した。

⑥レイヤーを移動する



次ページへ続く ➡

⑦レイヤーを縮小する

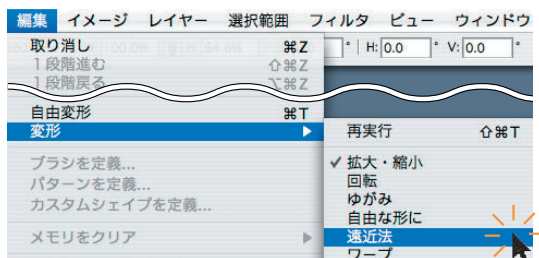


①メニューバーの[編集]→[変形]→[拡大・縮小]をクリックする。



②ハンドルをドラッグし、適当なサイズになったら枠内でダブルクリックする。

⑧レイヤーを遠近法で変形する

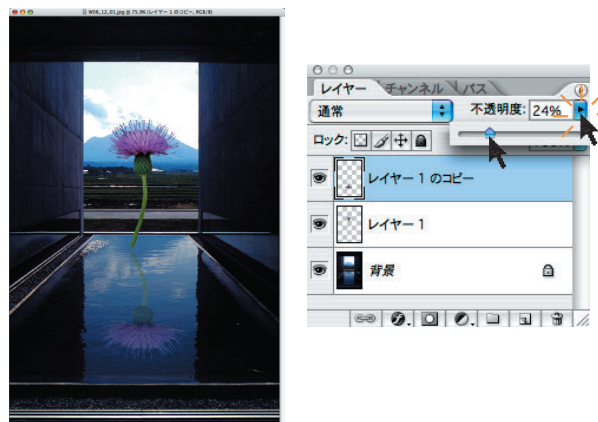


①メニューバーの[編集]→[変形]→[遠近法]をクリックする。

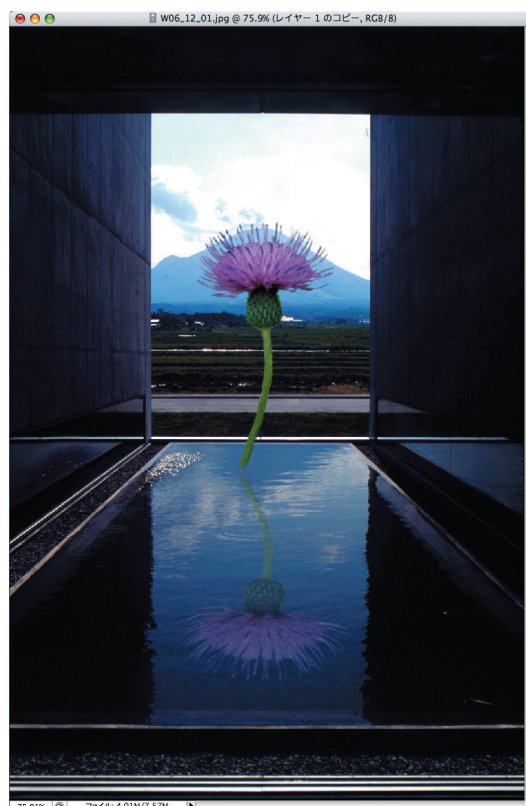


②右下のハンドルを左右にドラッグする。[shift] キーを押しながら操作すると水平を保ちながら下部を拡大できる。適当なサイズになったら枠内でダブルクリックする。

⑨レイヤーを半透明にする



①レイヤーパレットの右上にある[不透明度]の右側にあるアイコンをクリックし、表示されたスライダを動かすと、選択されているレイヤーだけ、不透明度を変更できる。不透明度を下げると下のレイヤーが透けて見える。



②自然な感じに仕上がれば完成だ。

◆ワンポイント

このまま複数のレイヤーを残してデータを保存するときは、Photoshop形式(拡張子.psd)またはTIFF形式で保存する。ただし、レイヤーはたくさん重ねればメモリを大量に消費し、ファイルサイズも大きくなる。そのようなときはレイヤーをまとめて1枚の背景画像にする。保存方法の詳細は「[Web 6-15 レイヤーの結合](#)」を参考にしていきたい。